

のむら
野村



南予地方局八幡浜支局農村整備課

1. 生き物教室の概要（がいよう）

開催日時：平成27年6月23日（火） 8：30～12：00

開催場所：愛媛県西予市野村地区

講師：愛媛大学 吉富 博之 准教授

学生 2名

参加者：西予市立野村小学校 5年生 55名

先生 4名

ふるさと水と土指導員 2名

南予地方局八幡浜支局農村整備第一・第二課 9名

西予市役所農業水産課 5名

西予市野村支所産業建設課 1名

みどり
水土里ネット愛媛 5名



2. 地区の概要（がいよう）

野村町は愛媛の西南部に位置し、「ミルクとシルクのまち」として知られています。また、野村ダムは、四方を山に囲まれたダム湖で、周辺は公園として整備されています。四季折々の花が楽しめ、様々なイベントが開催されます。

毎年11月には乙亥大相撲が行われます。プロとアマチュアカスによる直接対決が見られる日本唯一の大会です。今年で開催から164年になります。

野村小学校では『よく学び、よく遊び、心身ともに健やかで、心豊かな野村の子を育てる』を目標としています。2015年に溪筋、中筋、大和田、野村、河成の5つの小学校を統合して、全校生徒は336名になりました。登下校のあいさつ運動に力を入れており、活気ある学校づくりに取り組んでいます。



3. 生き物教室の内容

○概要と目的

今回の生き物教室では、野村小学校から約 200m 下流の田んぼや水路で生き物を採集し、生き物の名前を調べ観察カードにスケッチをしました。

身近な田んぼや水路で採れる生き物を観察することで、将来を担う子供たちに野村地区の自然環境のすばらしさや身近にある農地・水路等の役割を再認識してもらい、更には、環境保全に対する理解を深めてもらうことを目的として開催しました。



○生き物採集

先生や生き物教室のスタッフから、注意事項や採集方法の説明を受けた後、田んぼへ移動して生き物の採集を開始しました。

田んぼや水路では、コウベモグラ、ニホンアマガエル、コイ、ドジョウ、ヒメガムシ、ヌマエビ、カワナナなどが採れました。



○生き物の同定（名前調べ）、観察

採集した生き物を小学校へ持って帰り、^{すかん}図鑑を見て、名前を調べました。そして、それぞれ自分が興味を持った生き物を選び、^{とくちょう}特徴を丁寧に^{ていねい}スケッチしました。



○先生のおはなし

<吉富博之先生>

吉富先生から、生き物についていろいろな話がありました。

日本全国で野生の鹿が増えていて、増え過ぎると植物を全部食べてしまうので、林が^{かんそう}乾燥して、木が枯れて、土砂崩れが起きたりします。もう1つの問題は鹿の体についているダニです。人間の血を吸った場合、病気を移すことがあります。鹿を減らしたらいいのですが、その方法を見つけ出せていません。

北海道にいるウチダザリガニ（外来種）も増え過ぎて、水生植物を全部食べてしまいます。すると、水生の生き物がなくなってきます。生き物が増え過ぎたり、いなくなったりしていることに気づくのが遅かったです。なので、身近な環境とか生き物に関心を持ってほしいです。いち早く気づけることが大切です。

最後にオオキトンボを紹介します。アキアカネの仲間です。ほとんどの所で絶滅してしまいましたが、愛媛県にはなぜか多いです。愛媛県のため池が全部なくなってしまうたら、このトンボは日本からいなくなってしまうかもしれません。

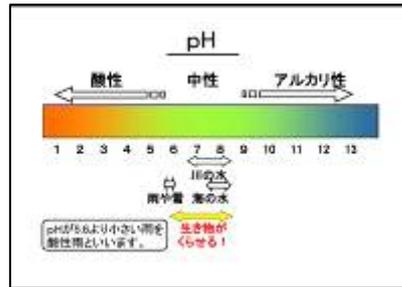


○水質調査

①田んぼの水と②水道水を、pH（水素イオン濃度^{のうど}）とCOD（水のおよごれを知る目安）検査を行い、水の性質を調べました。

pH検査：①と②ともに、中性^{ちゆうせい}の値で生き物が暮らすことができます。

COD検査：①と②ともに、汚れがある水の数値結果となりました。



○ふるさと水と土指導員さんのお話

スケッチはそれぞれの特徴^{とくちよう}を捉えて私よりもみなさんの方がきれいに書けていました。私が小学生の頃はフナの子供とかナマズ、ドジョウが列をなしていました。一時減っていましたが、最近また復活してきたように思います。今日のことを基にして、今後の環境^{かんきようほぜん}保全に気を配って頂いたらと思います。

小田から来ているのですが、同じ魚でも呼び名が地域によって違うのだなと思いました。小田にいない虫たちもいましたし、1日楽しく過ごさせて頂きました。今度観察会をしますので、みなさんのことを伝えたらと思います。先生もいろいろ教えて頂いてありがとうございました。

(山中さん、成田さん)



4. おわりに

今日は生き物教室を開いて頂き^{いただ}、ありがとうございました。僕は生き物が好きだからこういう教室を開いて頂きとてもうれしいです。友達の中にはモグラやコイを見つけて捕まえていた人もいたので、すごいと思いました。最近^{つか}は生き物が減ってきているので、もっと生き物を大切にしようと思いました。今日はありがとうございました。

(土居 幹汰くん)





今日はお疲れ様でした。5年生のみなさん今日の学習で身近にある田んぼや水路にいろんな生き物がいるということがよく分かったと思います。これら生き物はこれからもずっと守っていかねばならない宝物だと思います。今日学習したことをきっかけに、みなさんの身近にある環境の大切さを真剣しんけんによく考えてみてください。今日は本当にありがとうございました。
(松尾 健工事検査専門員)



5. 生き物たち



コウベモグラ



シマヘビ



ミシシippアカミミガメ



トノサマガエル



ヌマガエル



ツチガエル?



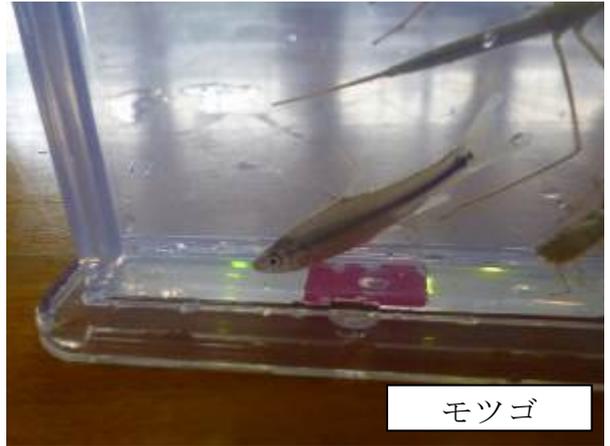
ニホンアマガエル



コイ



ギンブナ



モツゴ



ドジョウ



ヨシノボリの仲間



ギンヤンマのヤゴ?



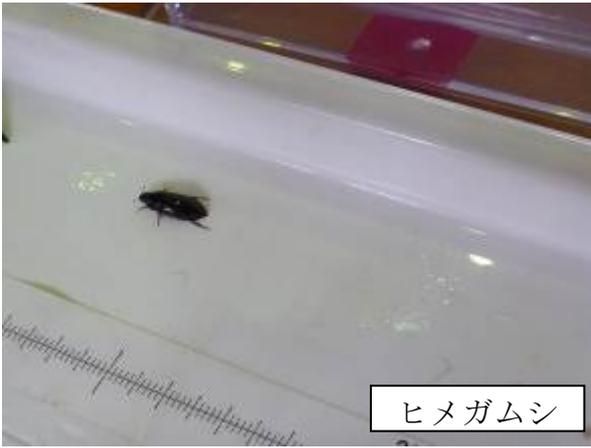
ヒメアメンボ



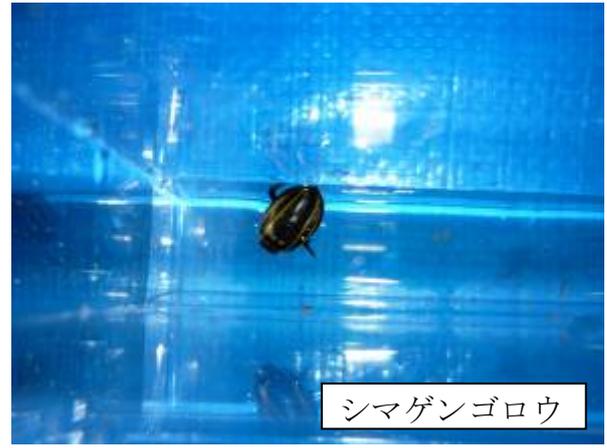
タイコウチ



ミズカマキリ



ヒメガムシ



シマゲンゴロウ



ケラ



ヒラタカゲロウ



ツヅレサセコオロギ



ショウリョウバッタ



ゲジ



テナガエビ